

赤い羽根募金で「福祉のまち西原」を支えよう

「地域の福祉、みんなで参加」をスローガンに、10月から12月までの3ヶ月間、赤い羽根共同募金運動が展開されることに伴い、沖縄県共同募金会西原分会（平安恒政分会長）は10月1日、サンエー西原シティ店舗入口で、街頭募金活動を行いました。出発式で、平安分会長は会員に対し、「募金は高齢者や障害者の福祉、ボランティアの育成・支援活動などに寄与される。今年は500万円を目標に、一致団結してがんばろう」と呼びかけました。



ちゅら島清掃活動でマリンタウンがきれいに

「ちゅら島環境美化清掃活動」が10月3日に行われ、町スポーツ少年団や企業、各団体、地域住民ら約170人が、マリンタウンあがりティータ公園や付近の海岸や道路を清掃しました。約1時間の清掃作業で集められたゴミは、ごみ袋(大)の350袋分にもなりました。



さわふじ青年エイサーまつり大盛況!

エイサーを通して地域青年会の活性化を図り、新たな伝統芸能の歴史を作ろうと「西原青年祭第8回さわふじ青年エイサーまつり」（西原町青年協議会主催）が10月4日、西原マリンパーク軽スポーツ広場で開催されました。エイサーには兼久、小那覇、内間団地、内間、坂田、小波津団地、幸地の各青年会が参加。その他、子ども会や舞葵琉太鼓、棚原ミルク太鼓や旗頭も競演し、大いに盛り上がりました。雨にもかかわらず、大勢の観客が訪れ、青年達の勇壮で力強い演舞に盛大な拍手が送られました。



まちの話題

庁舎建設・移転は妥当と答申

町役場庁舎建設検討委員会（平啓介委員長）は、諮問のあった西原町庁舎等複合施設基本構想の策定について10月2日、上岡町長に答申しました。同構想は総合計画を基本に、庁舎、町民ホール、保健センター、地域防災センターを「コンパクトで多機能な複合型施設」として、公共施設ゾーンへの建設や整備方針を明確にまとめてあり、その内容は妥当と判断されました。上岡町長は「今度こそは立ち消えないよう、しっかり整備していきたい。今後は地権者への説明会を行い、23年度の着工を目指します」と述べました。



佐久本さんが西原の懐かしい映像(DVD)を寄贈

1970年代から90年代までの町内の映像記録が収められたDVDが10月6日、佐久本清さん（中城村）から町立図書館に12枚寄贈されました。当時、町内に住んでいた佐久本さんは、視聴覚機器の販売をしていた縁で、西原東小学校開校式や中央公民館起工式など、学校や公共施設の行事、製糖工場など町内の変遷を伝える貴重な映像を8ミリフィルムで撮影。今回、寄贈されたDVDは図書館内で閲覧でき、波平館長は「他にも学校や地域の行事を撮ったフィルムを持っている方がいれば、提供してほしい。DVD化し、図書館に置いて地域資料となるよう、住民に公開していきたい」と呼びかけています。また10月13日、佐久本さんは町教育委員会にも同様のDVDを寄贈しました。



西原産の牛の評価を競う

町の畜産振興の強化を図るため、「平成21年度西原町畜産共進会」（同実行委員会主催）が9月15日、あがりティータ公園で開催されました。5部門に37頭の肉用牛が出品され、肉付きなど牛の評価を競いました。今年度は、山本盛一さん（字幸地）が出品した「いちご」（黒毛和牛・生後24～48ヶ月未満）が西原町長賞を受賞しました。また、10月2日に中部家畜市場で行われた「平成21年度中部地区畜産共進会」で、山本さんの「いちご」は成雌1類の部で1等を受賞し、11月に開催される沖縄県畜産共進会に出品されます。



まちづくり研究会の第5期生が誕生

10月1日、まちづくり研究会第5期生の辞令交付式及び第1回研究会が、町役場で行われました。まちづくり研究会とは、若手の町職員が魅力あるまちづくりや、親しみの持てる役場づくりなどについて調査・研究し、町長へ提言する研究会で平成12年に設置され、これまでに40名を輩出。第5期生は9名の若手職員が辞令を受け、上岡町長は「自分達の住んでいるまちを研究することは大切で、まちづくりに知恵を出し合ってほしい。町民目線、町民本位の政策が出てくることを期待している」と激励しました。同研究会は、研究の成果を町長へ報告することになっています。



県身体障害者スポーツ大会で西原勢が大活躍!!

「第45回沖縄県身体障害者スポーツ大会」が9月13日、名護市営陸上競技場などで開催され、県内各地から多くの選手が参加しました。南部福祉地区の代表として、西原町から14名の選手が参加し、200m走や立幅跳、砲丸投、ソフトボール投等で、金9個、銀1個、銅1個を獲得しました。また、渡久山勇さん（200m走・立幅）と糸数星子さん（砲丸投・立幅跳）が県代表として、10月に新潟県で開催される「第9回全国障害者スポーツ大会」に出場します。



上里健次さんが海外ボランティア派遣

ボランティアの国際協力活動を通じて、開発途上国の国づくりに貢献するJICAボランティア事業で、元琉球大学の農学部教授である上里健次さん（字上原）がシニア海外ボランティアとして、今年9月から平成23年8月まで、アルゼンチンの国立大学の植物研究所へ派遣されることになりました。上里さんは9月17日、町役場を訪れ、「専門分野であるランのバイオテクノロジーの研究を活かしたい」と抱負を語りました。



祝・100歳! あやからちきみぞーり

上岡町長は9月29日、與那城ツルさん（字桃原）宅を訪れ、新100歳の長寿を祝い、記念品を贈りました。デイサービスが楽しみという與那城さんは、毎日朝早くから畑に行き、好き嫌もなく、意思が強いことが長寿の秘訣だそうです。上岡町長は「長寿のお年寄りには地域の宝」と述べ、子や孫と一緒に長寿を喜びました。今年、町内で新100歳を迎えた方は11人、101歳以上の方は11人です。

